

令和2年度事業報告

社会福祉法人 あゆみ園

本部事業報告

はじめに

令和2年度のあゆみ園の運営につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、例年通りの活動は困難となりました。まずは何よりも感染予防が重要と考え、納涼祭や運動会、新年会などは利用者と職員のみで事業所ごとに開催し、日帰旅行や一泊旅行は中止としました。また、予定しました修繕工事などは、感染予防の観点から工事関係者の入園を制限せざるを得ないため、緊急な工事以外は次年度に繰り越しました。更に、保護者の面会も制限させていただくなど、何かと制約の多い一年でした。

そのような状況の中、かぜのこ事業所の利用者送迎用車両を、栃木県共同募金会の補助をいただき購入しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、県の感染症緊急包括支援交付金を活用し、マスクやアルコール除菌薬、赤外線体温計などを購入したほか、テーブルや椅子なども購入しソーシャルディスタンスの確保に配慮しました。空気清浄機や網戸も設置し、季節や時間を問わず十分な換気ができるようにしました。職員についても朝・昼の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止に努めました。また、職員間の報告・連絡等はメールなどによることとし、会議や研修はWebを活用し職員の事業所間の移動も極力減らしました。

1 管理運営体制

令和2年度は評議員会を1回、理事会を5回、監事監査を1回開催しました。

監事監査	5月28日(木)	令和元年度決算監査
第1回理事会	6月2日(火)	令和元年度決算及び事業報告他
定時評議員会	6月18日(木)	令和元年度決算及び事業報告他
第2回理事会	9月16日(水)	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業他
第3回理事会	11月25日(木)	上半期収支決算報告、嘱託職員就業規則制定他
第4回理事会	2月17日(水)	指定生活介護事業所あゆみ運営規程改正他
第5回理事会	3月26日(金)	令和3年度予算及び事業計画他

2 人材育成

平成28年度より導入しました人事考課制度は、昇給や異動等の人事・給与制度の公平性・透明性確保はもとより、上司が部下との面談を通じ、職員に期待することなどを一人々に伝えながら人材育成を図り、更には個々の職員の意見を職場環境に反映することに重点を置いています。まだ試行的な面もあり完全実施には達していませんが、職員間にも制度の趣旨が徐々に浸透しています。

また、令和2年度は職員の支援力向上のための内部研修を積極的に展開したほか、新採用職員を対象にした研修も充実しました。外部研修は、新型コロナの影響で多くの研修が中止となりましたが、関係団体が主催するWeb研修を活用し人材育成に努めました。

3 公益活動

社会福祉法人改革に伴い社会福祉法人は、地域における公益的な取組を実施することが求められています。あゆみ園では、栃木県内の社会福祉法人で構成される地域における公益的な取組推進協議会が主催する「いちごハートネット事業」に参加し、地域における様々な福祉課題に対する相談窓口を設置しています。また、栃木市が行っている「くらしだいじネット事業」にも参加し、障害者等の高齢化・重症化・親なき後等に備えた緊急支援体制の一端を担っています。

災害時の活動としては、大規模災害時における広域支援を行う栃木県災害福祉支援チームに職員2名を登録し、県の要請に応じて職員を派遣できる体制を整えています。

保健事業報告

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、利用者・職員の健康管理や感染の予防に努めました。一時帰省、救急法講習会は中止し、予防接種や検診は感染対策をして実施することができました。また、ワクチン接種については利用者・家族・職員等へ説明し理解して頂き、準備をしていきます。今年度も感染予防や対策を嘱託医と相談し、法人全体で取り組み感染防止に努めます。

- ・嘱託医による巡回相談 生活習慣病検診の実施
- ・ホームみどり・あゆみ・すてっぷ・日中・短期利用者の薬の準備と確認
- ・発熱・怪我等による緊急通院や医療的処置などの看護業務
- ・各種申請や専門相談員との連絡相談
- ・利用者への支援

健康管理について（結果）

時 期	項 目	対 象			合 計
		グループ ホーム	日中活動 事業所	職 員	
毎月	体重・血圧測定	26名	25名		51名
5/ 2~4	帰省時健康チェック	0名			0名
6/4	内科検診		48名	47名	95名
6/4	検尿検査		0名	0名	0名
7/14	救急法講習			資料配布	
8/13~16	帰省時健康チェック	0名			0名
10/22	生活習慣病検診	26名			26名
10/22	結核検診		34名		34名
11/5	インフルエンザ予防接種	24名	31名	58名	113名
12/ 3	内科検診		11名	7名	18名 ※1
12/ 3	検尿検査		34名		34名
12/29~1/3	帰省時健康チェック	0名			0名
毎日	体温測定				
随時	歯ブラシ・コップ消毒				

その他

※1 集団検診から、毎月の嘱託医巡回相談へ変更

感染に対する予防・マニュアルの確認、日々の体調やADLなど身体的な機能の変化を観察し、家族も含め嘱託医・主治医・各専門員との連携を取りながら今後に対応していきます。

調理事業報告

はじめに

令和2年度の調理事業については、次のとおりです。

- ① あゆみ 昼食を提供(食堂にて)
- ② すてっぷ 昼食を提供(料理をすてっぷに配達し支援員と配膳、食器洗浄)
- ③ めぐみ 昼食を提供(料理をめぐみに配達し支援員と配膳、配食器具洗浄)
- ④ ホームみどり 朝夕食、休日昼食・3時の手作りおやつを提供、季節に応じた特別メニューを提供
- ⑤ 短期入所、日中一時 朝昼夕食を提供(食堂にて)
- ⑥ 職員 朝夕食を提供(当直勤務の職員のみ)

献立は業務用献立配達業者「タイヘイ株式会社」に部分委託

< 概ね達成できたもの >

1、誕生月の利用者に嗜好調査を行い、希望メニューを月に2回提供することで、利用者の嗜好に添えるものを提供することができました。

*栄養面での偏りを考慮し、カルシウム・タンパク質・鉄分・ビタミン類を補えるようメニューに組み入れ提供しました。

2、栄養改善について

(1) ホームみどりに上記1*について栄養価月報を作成し栄養の改善に努めました。

(2) 朝食のみあゆみ献立で提供し、栄養価月報を見直し改善に努めました。

(3) 給食施設における栄養、給食管理等の状況把握の為に、給食実施報告書を年2回(5月・11月) 県南健康福祉センターに提出し、給食喫食者の栄養の改善及び健康の保持増進を図り、栄養管理に努めました。

3、衛生管理について

(1) 害虫駆除 5月、11月に実施

(2) 検便検査を毎月実施

(3) 自主衛生管理(HACCP)に沿った衛生管理の徹底(給食日誌・個人衛生チェック表・食品衛生チェックリスト・検食簿・環境衛生)に努めました。

(4) 原材料受け入れ時の交差、二次汚染防止に努めました。

4、災害時非常食対応 各事業所に提供できる体制を整えました。

5、ホームみどりの休日の午後3時に手作りおやつを提供しました。

指定生活介護事業所あゆみ事業報告

はじめに

他事業所や高齢系の事業所へ移行される方がいたのだが、新規契約者の確保に至らず平均利用者数が定員に達しませんでした。また感染症予防のために、一時的に通所の自粛をお願いしてきたことも利用者の減少に至った原因の1つだと思われます。利用者の高齢化・重度化に伴い、支援を提供する支援員数の増員に至らざるを得ない状況になってしまったことで、安定した事業所運営に繋げることができなかった。

令和2年度利用実績

定員	20名
契約利用者	22～25名 (内 週3日利用者 2名、週2日利用者 1名)
月別契約利用者	25名 (4・5・6・7月) 24名 (8・9・10・11月)
	22名 (12・1・2月) 23名 (3月)

(利用状況)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	20	22	262
1日平均利用者数	20.3	18.4	20.0	18.8	18.3	20.1	20.5	19.9	19.0	18.7	19.2	19.6	19.4

(事業実施状況)

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
七夕会	7月7日	全員	クリスマス会	12月17日	全員
あゆみまつり	8月26日	全員	あゆみ新年会	1月21日	全員
あゆみ運動DAY	10月9日	全員	節分会	2月3日	全員

1 概ね達成できたもの

- ・散歩の機会を確保し、体力維持や機能維持に繋げてきました。感染症予防の観点から、気分転換を図る為に、散歩する場所を変更するといったことについては課題が残りました。
- ・風通しの良い施設を作るために、多数の施設体験生、見学者を受け入れて来ました。
- ・例年、実際に保護者にお会いして行っていた面談ですが、感染症予防のために、電話にてニーズの聴き取りを行いました。

2 達成できなかったこと

- ・感染症予防の為もあり、外出や旅行など社会参加の機会を設けることができませんでした。
- ・作業活動にて自主作品を作成してきたが、十分な販促活動を行っておらず工賃収入が減少してしまった。
- ・参観や懇親会といった保護者との関係構築のための機会を作ることができませんでした。

指定生活介護事業所すてっぷ事業報告

はじめに

令和2年度は、定員20名・利用契約者23名（ホームみどり20名在宅より3名）でスタートしました。年度途中で3名の他の事業所への移動、1名の利用契約がありました。3月末での利用契約者数は、22名となっています。

令和2年度利用実績

定員	20名	利用契約者	23名(4月)
			22名(5月～6月) 4月に1名退所
			23名(7月～11月) 7月より1名利用開始
			22名(11月～1月) 11月に1名退所
			21名(2月～3月) 1月に1名退所

(利用状況)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	23	22	22	22	20	23	263
1日平均利用者数	21.7	21.2	21.5	22.4	22.4	22.4	22.3	21.5	21.5	20.9	20.6	20.6	21.5

(事業実施状況)

事業	実施日	対象者	事業	実施日	対象者
納涼祭	9月15日	全員	運動会	10月8日	全員
クリスマス会	12月16日	全員	新年会	1月12日	全員
誕生会	毎月	全員			

1 概ね達成できたもの

<日常生活支援>

- ・運動公園などでの散歩や雨天時の室内運動などを実施して、健康面、身体機能の維持に努めました。事故や怪我の無いよう、安全に支援する事ができました。
- ・利用者さまへの個別支援の仕方、関わり方などに配慮できる様、ケース会議や勉強会を実施し、支援の向上を行ないました。また、利用者さまの気持ちをお察しする事に努め、居心地の良い事業所にしていくとともに、利用者さまの間のトラブルを解消できるようにしました。

<作業>

- ・個々の能力を考慮し利用者にあった作業内容、工程の提供を行うことができました。

<余暇活動・社会参加>

- ・栃障協による永野川公園清掃への参加や、施設近隣のゴミ拾いなどの社会貢献を通じて、利用者さま一人ひとりが地域で生活している事を感じられるように関わっていききました。

- ・余暇活動やクラブ活動を実施し、皆で何かに取り組む事や笑顔になる事で、利用者さまの心を動かせるような企画を考えていきました。

<コロナウイルス感染症対策>

- ・今まで以上に感染症予防の意識を職員が持ち行動する事で、利用者さまの日課の中にも手洗いや消毒、マスクの着用が自然と出来るような支援が出来るようになりました。

2 達成できなかったこと

<日常生活支援>

- ・利用者さま個々の障害特性に応じた支援には、まだ不足している部分もあり、落ち着いた環境の提供が出来ていない場面もありました。

<余暇活動・社会参加>

- ・永野川公園清掃については、予定通りに実施できました。地域のゴミ拾い活動は天候や職員の配置状況を見て適時実施しましたが、昨年と同様の回数に留まっています。
- ・余暇活動については感染症予防の観点から、外出を兼ねた活動に制限があった点、おやつ作りなども感染予防の面から当面の自粛となっており、企画が難しい部分があった。

3 その他

- ・例年なら法人全体で企画している大きな行事（納涼祭、運動会、新年会など）については、各事業所ごとに企画となりました。それぞれのイベントを企画して利用者さまからも好評でした。
- ・利用者旅行、食事を伴った外出のイベントは自粛としました。

指定就労継続支援（B型）事業所めぐみ事業報告

はじめに

令和2年度は利用者25名でスタートしました。その後6月に退所者3名、7月に新規利用者1名、1月に退所者1名となり、令和3年3月31日現在、利用契約者22名のご利用となりました。

グループホームぼくんちより3名、にゃんきちより2名、ホームみどりより3名、自宅より14名が通所利用されています。

令和2年度利用実績

（利用状況）

令和2年度 定員20名 利用者22名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	262
平均1日利用者数	20.3	19.2	21.5	19.6	18.2	18.7	19.3	18.9	18.4	17.6	18.6	19.3	19.1

緊急事態宣言に伴い、4月から6月まで（対象者10名）と1月から（対象者2名）3月継続（対象者1名）ですが、在宅支援サービスを実施致しました。

（事業実施状況）

事業	実施日	参加数	事業	実施日	参加数
納涼祭	8月24日	19名	クリスマス会	12月21日	18名
新年会	1月18日	17名			

七夕会（7月7日）、お月見会（10月5日）、ひなまつり会（3月1日）も実施しました。

作業活動について

年間工賃総支給額 2,409,934円（前年比86.6%）。

1か月の平均工賃は9,377円。昨年度9,402円。平成31年（令和元年）度は10,716円。

新型コロナウイルス感染予防及び緊急事態宣言等により、作業発注先（主に自動車関連）の稼働日と生産量が減少した影響で、受注量の減少が利用者様の工賃減額の要因になっています。

そのような中、施設外就労（1名）10月から2月までを実施しました。8月より医療関係のスポット取り作業（株）アータマ（大平町西山田）との取引が始まりました。

自主製品洋裁の手作りマスクが爆発的に売れ、年間収益に貢献しました。

主な取引先及び年間収益一覧

取引先、作業名	年間収益 (円)	備考・作業内容など	前年比 (%)
江田加工所	14,614	ボールペン組立、枠外しなど	20.7%
光栄電機	128,644	断熱シール貼り、コードのカバー付けなど	57.3%
中央パッケージ	904,714	ゼブラ製品のパッケージ詰、箱詰め	102.7%
トップ工業	104,250	金属のカット折り作業（車のマフラーに使用）	66.5%
関口商事	327,212	資源回収。毎月第3水木曜は全体で地域回り。 新聞、段ボール、アルミ缶。	59.9%
オーシマ小野商事	28,000	施設外就労。封筒貼り。毎週月曜午前中（令和2年9月契約終了）	63.6%
農産物販売	90,550	ブルーベリー、黒大豆の栽培、収穫、販売	80.8%
松下通商	195,517	自動車部品（スポンジの枠外し）	81.6%
自主製品	118,370	洋裁（手作りマスク等）	12,460%
栃木法人会	108,153	定期発行物（法人便り）の袋詰め、発送	104.5%
栃木清掃サービス	66,520	資源回収。段ボール、雑誌、アルミ缶等	80.7%
籠谷いちご園	26,700	いちごの箱折り作業	96.2%
尾花いちご園	30,450	いちごの箱折り作業	129.8%
スペース24	59,340	市内駅前5か所の駐車場管理業務（令和2年6月契約終了）	36.6%
アータマ	59,331	スポイトバリ取り作業	前年度無し
施設外就労	54,000	マルトモ食品（食器等洗い物）令和2年10月～令和3年2月	前年度無し

※大口の取引先および作業のみ記載

指定短期入所事業所あゆみ事業報告

はじめに・・・

短期入所あゆみ(単独型)は、将来を見据えたグループホーム利用の為の体験利用やご家族のお仕事、冠婚葬祭などの緊急時など、様々な利用目的に合わせて受入れを行ってきました。しかし4月から8月までの間、十分な支援員数を確保出来ず、安心してご利用していただける状況ではなかったことから、やむなく週末の受入れを自粛してきました。また、新型コロナウイルス感染症の状況をみて、一時的に利用を市内在住の方のみにするなどの他、定期的に感染症に関する通知を配布し、予防を図りながら事業運営を行ってきました。その為、利用状況については昨年度よりも減少する形となりました。

1 利用状況

延べ利用者数 1, 513人 一日平均利用者数 4.14人

※令和元年度

延利用者数 1, 710人 一日平均利用者数 4.68人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
延利用者数	118人	115人	120人	130人	124人	129人	139人	140人	144人	149人	112人	93人
1日平均 延利用者数	3.90人	3.70人	4.00人	4.19人	4.00人	4.30人	4.48人	4.66人	4.64人	4.80人	4.00人	3.00人

2 具体的な活動内容

- (1) 利用者及びご家族の利用目的を聴きとり、可能な限り希望に沿ったサービスを提供しました。
- (2) 冠婚葬祭などの緊急時に優先的に利用していただけるよう調整させていただきました。
- (3) 快適に過ごしていただけるよう、定期的に居室の清掃や季節に応じた寝具の提供を行いました。
- (4) 安心してご利用していただく為に、他法人の事業所と利用者の情報を共有するため会議に参加しました。
- (5) 栃木市くらしだいじネット(緊急短期入所)の受入れに協力をさせていただきました。

3 今後の課題と目標

支援員の体制不備、新型コロナウイルス感染症などの理由により、大幅に稼働率が低下してしまいました。今後の課題として、安定した事業運営をしていく為に、感染予防を図りつつ電話などで直にご利用を進めていく等の動きが必要だと思われます。

また利用者・保護者が安心して利用をしていただく為に、施設内で勉強会や外部研修に積極的に参加し、支援の質の向上に努めていきます。

指定短期入所（空床利用型）事業所べるで事業報告

はじめに

空床利用型短期入所べるではホームみどり、みどり棟内の空床を利用した短期入所として1名の方が利用しました。5月以降の短期利用者様はいませんでした。栃木県内でも新型コロナウイルス感染拡大に伴い感染症対策を行ってきましたが、べるでは空床型の為、ホームみどりの利用者様との濃厚接触が避けられない為、当面は受け入れをお断りさせて頂きました。

1 利用状況

延べ利用者数 1名 6月以降利用なし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ利用者数	29	2											31
1日平均利用者数	0.9	0.06											0.05

2 具体的な活動内容

利用者様、保護者との連絡調整を行い、安心してご利用頂けるように配慮しました。

利用者様の快適な居室や生活環境を提供出来るように努めました。

利用者様の能力に応じた支援の提供、状態に応じた対応を行うことで不自由なく生活出来るよう努めました。

3 今後の課題

次年度はみどり棟内に1名の方が入居予定の為、利用者様が9名となります。現在各棟1床ずつ新型コロナウイルス感染対策の為、入居利用者様の面会室等に活用しています。その為、現在空床がないことから新型コロナウイルスの状況が落ち着くまで受け入れは難しい状況です。

指定居宅介護等事業所さんぽ道事業報告

はじめに

令和2年度の利用者は、「ホームみどり」「ホームおれっち」「在宅」合わせて65名前後でした。新規契約の方は数名いましたが、諸事情により契約終了となる方もいて利用者の総数は余り変わりませんでした。

新型コロナウイルス感染拡大により契約終了を申し出る利用者はいませんでした。感染予防の為に「外出を控える」「時間を短縮する」という利用状況が続きました。

感染予防の為に対策を行いながらサービス提供責任者2名、ヘルパー業務専属者3名の体制でサービスを提供しました。

1 利用者へのサービス提供について

- ・相談支援専門員からの情報を基に、利用者や保護者（GHや施設においてはサビ管、担当職員）のニーズに沿った個別支援計画を作成し、適切なサービスの提供が出来ました。
- ・それぞれの特性を理解した上で、利用者に対し統一したサービスの提供が出来ました。
- ・日頃より利用者の心身の変化を気に掛け、状況により相談支援専門員や関係機関と連携を図りながら必要な対応をしました。

2 ヘルパー資質向上について

- ・在籍中のヘルパーにおいては、当事業所が行う福祉サービス提供に必要な資格研修をすべて終了しています。
- ・新型コロナウイルス感染予防の為に、勉強会や研修会参加は出来ませんでしたが、日常的に情報や意見の交換を行っています。

3 事業展開について

- ・在籍のヘルパー数で安定したサービスが提供出来る範囲に事業規模を調整しました。
- ・対応可能な依頼については新規受け入れを行いました。
- ・ヘルパーの求人は行っていますが、問い合わせはありませんでした。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームみどり事業報告

はじめに

今年度は利用者様3名が退居し1名が入居しました。3名の方はそれぞれ身体面に合ったサービスが受けられる施設への希望があり、退居となりました。3月時点で25名が利用されていますが、令和3年4月には2名の方が入居予定で27名になる予定です。

新型コロナウイルス感染拡大により、今までのような帰省や面会日を設けることが困難になった為、下半期より空いている居室を利用し、1日1組限定でご家族と面会を行えるよう整備しました。次年度も新型コロナウイルス感染対策が必要と見込まれることから、当面は27名の利用とし、3床を新型コロナウイルス感染症対策として活用させていただきます。

令和2年度利用状況

定 員 30名

契約利用者 4月 27名
 5・6・7・8・9・10・11月 26名
 12・1月 24名
 2・3月 25名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ利用者数	793	806	780	806	806	780	806	748	744	744	700	775	9,288
1日平均利用者数	26.4	26	26	26	26	26	26	24.9	24	24	25	25	25.4

<日常生活支援について>

食事、排泄など利用者の状況に応じて必要な支援を適宜提供しました。

<健康面について>

毎日の検温、様子観察などを行い、日中活動事業所とも協力することで利用者様の健康管理を行いました。

定期通院や体調不良時に看護師、居宅介護事業所と連携を図り、適宜通院しました。

日常的に手洗い支援と手指の消毒、1日2回のホーム内消毒作業を励行し、感染症の予防に努めました。

利用者様の高齢化・身体機能の低下により、転倒等の事故の発生がありました。

<余暇活動、外出支援、社会参加について>

居宅介護事業所と連携し、利用者様の状況や希望に応じた移動支援の内容を提供出来るように努めましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、全ての希望に応じることが出来ませんでした。次年度はホームみどり独自の余暇活動を企画し、コロナ禍でも楽しめる活動を提供します。

<日中事業所との連携について>

日中活動事業所として主に利用している、生活介護事業所や就労系事業所とも常に連携を取り、相互に協力しながら利用者様の生活支援を行うことが出来ました。

<防災、避難訓練について>

(社)あゆみ園の防災規定に基づき、避難、通報訓練を実施してきました。しかし、状況によっては避難訓練を実施出来ず、通報訓練のみになることもありました。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームおれっち事業報告

はじめに

ホームおれっちでは、現在ぼくんち・にゃんきち共に6名の計12名の利用者にご利用いただいております。にゃんきちで1名の方が高齢になったため入所施設への入所が決まり退所がありましたが翌月には新しい方の入所が決まりました。12名の利用者様がそれぞれの事業所や一般企業へ通いながら地域生活を送っています。個々においては様々な課題を有していますが、自分たちの生活スタイルを確立しています。

1 利用実績

<ホームにゃんきち>定員 女性6名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
1日平均利用者数	3.8	3.8	4.0	4.3	4.5	5.0	5.3	5.2	5.0	5.1	5.1	5.5

<ホームぼくんち>定員 男性6名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
1日平均利用者数	4.0	3.1	5.4	5.3	5.2	5.4	5.3	5.2	4.9	3.9	4.9	5.5

2 概ね達成できたもの

- ・「自分でやること」を基本に支援し、衣食住の様々な場面において個々の課題に応じた支援をしました。また、健康的なバランスのとれた食事の提供を行いました。
- ・健康面については、通院した様子を各関係機関、日中活動事業所に今の状態、今後の状態などについて連絡調整ができ、概ね達成することができました。
- ・サポート体制の整備については、月1回の世話人会議を行い情報共有し連携を図ることができました。
- ・余暇時間においては、個々に聞き取りを行い状況に応じて提供することが出来ました。

3 達成出来なかったこと

- ・健康面において、適度な運動量を継続し確保することができませんでした。
- ・余暇支援において、新しい余暇の過ごし方を一緒に考え実行することができませんでした。
- ・関係する事業所との連絡、連携がスムーズにとれるよう整備・調整を図ってきたものの、きちんと共有できていないことがありました。連絡・連携の不備による利用者の不利益に繋がらないよう十分配慮していきます。
- ・ホームヘルプ等を利用しての社会参加の機会が出来ない時があり、外出のサポートができないことがありました。
- ・コロナ禍により、例年通りの帰省やご家族との面会の機会を提供することが出来ませんでした。

指定特定・一般・障害児相談支援事業所ぴあん事業報告

1 指定特定相談支援事業

本事業は、障害福祉サービスを利用する方には必要であるサービス等利用計画の作成を主としたものです。令和3年3月31日現在の計画作成者数は約140名で、あゆみ園の利用者に限らず、他法人や他市町在住の障害者支援にも携わっております。また、他事業所では受けられないような困難ケースも対応していることから当事業所の信頼を得ております。ただ、対応件数の増加によりきめの細かいケースワークがむずかしくなっている現状もあり、件数の調整は今後の課題となります。

今年度はコロナウイルス感染予防のため一定期間の在宅ワークを導入しました。慣れない環境であるため戸惑うこともありましたが、利用者のご理解をいただきながらすすめていくことができました。これまでにない相談支援の在り方の気づきにもつながる機会となりました。

2 指定一般相談支援事業

長期入院者や入所者の地域移行や地域定着の相談支援を主とした本事業は、国の施策も計画的な退所や退院をすすめているためそのニーズは高まっています。

しかしながら、今年度はコロナウイルスの影響により医療機関に第三者が関わることの制限があり、結果として相談件数は1件のみでした。ただ、統計的にみると長期入院者の退院数は少しずつ増えており、医療従事者の退院支援も増えていることが分かります。まだまだ障害福祉計画でうたわれている目標退院者数には及びませんが、引き続き県内の精神科病院や入所施設との関係を円滑・強化し、希望に応じたサービス提供がスムーズにできるよう体制を整備しています。

3 指定障害児相談支援事業

本事業は、障害児の健やかな発達のために家族や関係機関との連携をもとに、就学や就職などライフステージに合った支援をすすめることができるよう、日々の基本相談を大切に、信頼関係を深めていくことを心掛けています。令和3年3月31日現在の登録児童は約50名ですが、特定相談同様、希望者はできるかぎり受け付けているため、市内外の障害児支援事業所や関係機関からのニーズは高まっています。引き続き「サービス利用するため」だけの相談支援ではなく、療育や家族支援の視点も備えた多角的な相談支援をすすめていくことができるよう自己研鑽の機会を計画的に実施する必要があります。

4 その他

・本事業は3名の相談支援専門員が担当しており、市自立支援協議会の運営においても中心的に関わり、市の障害福祉や地域福祉の発展に向けての取り組みをすすめています。

・県が地域の中核となる相談支援専門員の養成を目的に実施した「相談支援リーダー研修」に参加し、相談支援専門員を養成する法定研修の運営にも関わってきました。その他、各種研修に積極的に参加すると共に、行政や関係団体からの講師依頼の業務も多く受けています。

指定放課後等デイサービス事業所かぜのこ・児童発達支援事業所ふわり事業報告

はじめに

コロナウイルス流行の影響のため利用人数が安定しませんでした。児の健診も定期的に行われず、保健所からの発達相談後の見学予約や利用決定が増えてきたのは、令和3年になってからでした。職員の退職が続いたり、保育士の懐妊により、常勤人数の安定が図れず、加算が取りにくい状況が続きました。

かぜのこの利用予約は安定していましたが、やはり、コロナウイルス流行の影響のため、他事業所の利用を優先したり、自宅での待機を余儀なくされたため、コロナ禍での営業は厳しいものがありました。

令和2年度利用実績

定 員 10名

契約利用者 ふわり 16名（内個別5名） かぜのこ 18名

(月別契約利用者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ふわり	10	9	9	9	9	9	10	11	11	11	11	16	11
かぜのこ	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	18	18.3
合計	26	25	25	25	25	26	27	28	28	28	28	34	29.3

(利用状況)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	23	19	22	22	21	20	20	20	23	255
1日平均利用者数	3.7	4.5	5.6	5.6	6.3	7.8	7.5	7.5	7.5	8.1	7.8	6.7	6.6

- ※ 4月16日から栃木県に緊急事態宣言が出され、キャンセルが相次ぎ、利用が伸びませんでした。
- ※ 夏休み頃から利用人数は増えてきましたが1月13日に2回目の緊急事態宣言が出され、鼻汁が出る程度の体調不良でもキャンセルになり、利用が伸びませんでした。
- ※ 3月は、登録者数は増えてきましたが、4月から通うため、利用が伸びませんでした。

(事業実施状況)

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
お花見会	4月6日	中止	スイカ割り	7月20～24日	その日の利用児
秋祭り	9月23日	8名	ミニ運動会	10月12～16日	その日の利用児

ハロウィーン	10月19～30日	その日の利用児	クリスマス会	12月21～25日	その日の利用児
初詣	1月4日	7名	節分	3月11日	5名
保護者向け研修会	2月27日	8名	卒業生送る会	3月8～9日	その日の利用児

1 概ね達成できたもの

- ・令和2年度は、コロナの影響により、外出行事は中止とし、3密になる大きな行事は、各事業所ごとの開催としました。
- ・お花見会…車中にて桜を見るドライブに変更しました。
- ・秋祭り…ご家族参加の夕涼み会を中止とし、10名限定でゲーム参加型のお祭りを開催しました。
- ・スイカ割り、ミニ運動会、ハロウィーン、クリスマス会…密にならないように、その日の利用児が参加するようにし、もれのないように一週間行いました。
- ・保護者向け研修…研修会は児と離れて、合流後はおやつを食べながらの座談会を行う予定でしたが、コロナ対策としておやつと飲物は持ち帰りとしました。アンケートの結果は好評でした。
- ・卒業生を送る会…卒業生の最終利用日に行いました。
- ・毎月の誕生会を行いました。
- ・調理実習はコロナの影響により、中止としましたが、夏休みにはかき氷作り、春休みにはお煎餅をトースターで焼きました。

2 達成できなかったこと

(保護者相談、交流について)

- ・ふわりの保護者向けに研修会&交流会を行うことが出来ましたが、かぜのこの保護者さんからも、先輩ママと交流したい、卒業後に行くところはあるのか不安、などの相談がありましたので、保護者と支援者との交流を深める為に、保護者参観や研修会等を企画します。
- ・コロナ対策をしながら、買い物学習や、調理実習を再開したいと考えています。

日中一時支援事業所あゆみ事業報告

はじめに・・・

日中一時支援事業あゆみは、多くの方々にご利用いただくために365日毎日営業をしています。可能な限りご本人やご家族のニーズに合わせた受入れを行ってまいりましたが、支援体制の不備や感染症予防といった理由から、大幅に稼働率を低下させてしまう形となってしまいました。

そのような中でも、緊急的な依頼については可能な限り調整し受入れを行うことができました。また利用者の障害特性や利用者間の相性などを考慮した上で受入れをしてきたことで、トラブルや怪我に至ることなく利用していただくことができました。

安心・安全で丁寧なサービスを提供していく事で、ご家族との信頼関係を構築し、今後の利用に繋がっていきたいと考えています。

1 利用状況

延利用者数 2,795人(前年度比 -422人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
利用者数	231人	181人	232人	226人	228人	266人	268人	262人	241人	244人	195人	221人
1日平均利用者数	7.7人	5.8人	7.7人	7.2人	7.3人	8.8人	8.6人	8.7人	7.7人	7.8人	6.9人	7.1人

2 概ね達成できたもの

- (1) 利用者に心地よく過ごしていただく為に、興味を示す遊具や本を購入し、楽しんでいただけるような環境を作りました。
- (2) 他法人の事業所とサービスを併用されている方の情報共有の為に、積極的に会議に参加することより良いサービスの提供に努めました。
- (3) 見学者の受け入れを行うことで、風通しの良い施設作りを心掛けました。
- (4) 感染症対策として利用時には検温を行うと共に、設備の消毒を行いました。

3 達成できなかったこと

- (1) ドライブなどの機会は設定できましたが、感染症予防の為に、屋外での活動機会を十分に設けることができませんでした。

4 今後の課題

慢性的な人員不足や新型コロナウイルス感染症の予防ため、全てのニーズをお受け出来ていないといった状況が続いています。事業所運営においても厳しい状況となっていることから、一刻も早く支援体制を整備すると共に、感染予防を図りながら、多くの方々に利用していただくことが一番の課題となっています。

また、積極的に研修会や勉強会に参加していくことで、サービスの質の向上に繋がっていきます。